令和４年度事業報告

令和４年度の国内経済は、ロシアのウクライナ侵攻による世界情勢の不透明さ等から、原油価格がさらに高騰し、円安進行による燃料価格の高止まりが続き、かつてないほどの厳しい経営となった。また、諸物価高騰の波を受け、国民生活に大きな影響を与えた。

熊本県下の経済についても、台湾の半導体メーカーＴＳＭＣの熊本県進出は、県の経済活性につながるものとなったが、トラック運送業界においては、燃料価格の高騰が、トラック運送事業全体の経営が圧迫され、さらには、荷主企業との運賃交渉が難航するなかで、会員事業者においては、燃料高騰、輸送量低下、労働力不足の三重苦が続き、令和４年１月から１２月の間に会員２４事業者が休廃止等により退会となるなど、経営環境に暗い影を落とした。

今後、さらに少子化が進展する中で、運転手不足への対応は重要な課題であり、ＴＳＭＣの他、関係企業の進出に伴う県内の人件費は高騰が見込まれ、全産業的な労働力不足が顕在化してくる。併せて 2023 年からの働き方改革関連法により、業界の労働環境改善が進まないと、物流クライシスを招くこととなり、「標準的な運賃」を原資とした人材確保は、持続可能な運送事業を営む上で、喫緊の課題となっている。

これらの状況を背景に、政府（国土交通省等）においては、新しい資本主義の考え方に基づき、成長と分配の好循環の形成に取り組み、国内企業の持続的な成長を図るためには、パートナーシップによる価値創造のための転嫁円滑化に関する取り組みが進められているところである。

この流れを受けて、当協会では県下約３，０００社の荷主企業へ燃料価格高騰による「買いたたき」に対する理解と協力について、５月に協会長と熊本運輸支局長との連名文書を発出し、その後も１１月には協会長名で、運賃・料金の「買いたたき」のない適正取引の推進についての文書を発出した。また、今年１月には、熊本運輸支局長、熊本労働局長、熊本県警察本部交通部長、協会長の４者連名により、「トラック運送事業の適正取引及び事故防止に関するお願い」の文書を発出し、荷主企業に対して、適正な取引環境を整備すべく、徹底した周知啓発活動を行った。

また、経営基盤強化の一環として、「標準的な運賃」についての意識啓発を行う為、県内民放テレビ４局でＣＭ放送を展開し、さらにＳＮＳ広告も同時に行うなど一般消費者も巻き込んで、会員事業者の後押しとなる積極的な広報活動に取り組んだ。

そのほか、新型コロナウイルス感染症対応地方創生臨時交付金を活用したトラック運送事業者への支援については、協会長が先頭に立ち県下各支部と連携し、熊本県をはじめ各市町村への要望活動を展開した結果、熊本県をはじめ１３の自治体が、支援制度を創設され、会員の支援へとつながった。

また、トラック運送業界だけでは改善困難な長時間労働の抑制や適正運賃収受に向けた取り組みの他、国等に対しては、全ト協と連携し、自動車関係諸税の簡素化・軽減、特例措置の延長、高速道路料金の引下げ、物流基盤の整備やその諸施策の推進を要望し、熊本県に対しては、燃料（軽油）高騰に苦しむ中小事業者等への支援、「標準的な運賃」の周知及び適正取引に係る熊本県からの支援について、熊本の未来の物流を考える協議会等の設

置についてなど５項目の要望（注１）を行った。

その他、総務関係では、トラック運送の社会的役割の周知などを目的にコロナ禍での「トラックの日」イベントとして、感染防止対策をとって、昨年に引き続き、「ドライブインシアター」を実施し、大規模災害発生等に備えた災害物流専門家研修を２日間に亘り行い、県内自治体も参加するなど、情報共有の機会創出に努めた。

交通・環境対策としては、無事故チャレンジ運動や環境クリーンキャンペーンの実施、交通事故防止に係る街頭キャンペーンや交通事故・労働災害防止大会を開催した他、事故防止用品の配布等交通・環境対策を推進した。

適正化事業対策では、安全性優良事業所（Ｇマーク）の拡大や特別巡回指導等による輸送秩序の確立に努めた。

労働対策としては、2024 年問題労務対応セミナーをはじめ、物流出前授業等の実施、会員事業所及び熊本学園大学と連携したサマースクールのほか、人材確保・労務管理セミナー、企業合同説明会、くまもとお仕事探検フェアの開催など、精力的に労働力確保対策を推進した。

その他経営改善関係では、企業経営に関する各種セミナー・講習会の開催、アドバイザー制度等活用による経営基盤の強化等、コロナ対策を図りながら、精力的に各種事業活動に取り組んだところである。

このように、会員事業者の協力のもと、国内物流の大宗を担うトラック運送事業者として県民生活を守り、また、トラック運送業界の「社会的貢献」が正しく理解・評価され、社会的地位が向上するべくしっかりと取り組んだ年でもあった。

実施事業等の詳細については、次のとおりである。

「注１」

【県ト協の主な要望事項】

１．燃料（軽油）高騰に苦しむ中小事業者等への支援について

２．「標準的な運賃」の周知及び適正取引に係る熊本県からの支援について

３．熊本の未来の物流を考える協議会等の設置について

４．植木 IC と八代 IC 間の高速道路料金の無料化について

５．（公社）熊本県トラック協会「防災総合センター」建設支援について

令和４年度

〔総務・交付金運営委員会〕

１．最重点項目

（1）燃料価格高騰対策等の推進　　公益１－【1】－<1>

荷主企業に対し、燃料価格高騰により運送業界が、厳しい経営環境にあることや燃料上昇分について、買いたたきがコンプライアンス違反になることを理解するため、周知を行った。

運送会社が交渉しやすい環境が整備出来るよう、新聞広告、くまもと経済等による周知を次のとおり行った。

①　荷主を含む消費者等への広告

熊本日日新聞へ７段カラー広告を全２回掲載した。また、熊本県の補助金を活用し、全ト協広告デザインをベースにして、全15段カラー広告を掲載した。くまもと経済に１ページ広告を２か月掲載した。

ア．熊本日日新聞　５月７日（土）、５月１４日（土）、１２月２３日（金）

イ．くまもと経済　６月号、７月号

② 荷主団体への文書発送

県内の荷主企業約3,000社に対し、燃料価格高騰で転嫁できずに苦しむトラック運送事業者が少しでも交渉しやすい環境となるよう、燃料価格上昇分の運賃価格への転嫁（燃料サーチャージ）に対し、協議なく不当に据え置く「買いたたき」法令違反のおそれがある旨の周知文書を次のとおり、送付し、注意喚起を行った。

ア．熊本運輸支局長、トラック協会長の連名により送付（令和４年５月１７日付け）

イ．トラック協会長名により送付　　（令和４年１１月吉日）

ウ．熊本運輸支局長、熊本労働局長、熊本県警察本部交通部長、トラック協会長の連名　　（令和５年１月４日付け）

③　荷主団体会報への広告掲載

荷主団体である熊本県中小企業団体中央会が発行する「月刊中央会」８月号、１月号に、カラー広告を全２回掲載し、荷主企業に対する周知を図った。

④　ラジオCMでの周知

熊本シティＦＭでのCM放送により周知を図った。

⑤　Ｗｅｂ広告等の掲載

燃料高騰に係るトラック輸送の危機について、Ｗｅｂ広告（Facebook、instagram）にバナー広告を１か月間掲載した。また、併せて、熊本経済新聞のホームページにも広告を２回掲載した。

（2）燃料価格高騰対策等の推進（各種要望・陳情活動）　法人会計

燃料高騰分の価格転嫁のための対策（燃料サーチャージ等）、燃料税制対策、補助支援制度の創設、供給量の増加によるエネルギー価格低廉化方策等について、全ト協及び九ト協と連携して、トリガー条項凍結解除を含む燃料高騰対策を政府与党、行政機関等に対して強力に要望を行った。

①　国土交通省　自動車局貨物課長等との意見交換

月日：７月１２日（火）
場所：国土交通省
対応：（協会）住永会長、専務理事
（貨物課）日野貨物課長、運﨑課長補佐

②　熊本県に対する陳情要望

ア　熊本県　副知事に対する陳情要望
月日：５月２６日（木）
場所：熊ト協会長室
対応：（協会）住永会長、常務理事、事務局長
（　県　）木村副知事

イ　熊本県　商工労働部長に対する陳情要望
（一社）熊本県タクシー協会と連携
月日：６月１０日（金）
場所：熊本県庁
対応：（協会）住永会長、専務理事、専務理事、常務理事、事務局長
（タクシー協会）山城副会長、専務理事、事務局長
（　県　）三輪商工労働部長、清田交通政策・統計局長、篠田商工振興金融課長

ウ　熊本県　４部長に対する陳情要望
月日：７月２１日（木）
場所：熊本県庁５階審議官室
対応：（協会）正副会長、専務理事、常務理事、事務局長
（　県　）藤井商工労働部長、竹内農林水産部長、亀崎土木部長
三牧健康福祉部政策審議官、上田商工労働部政策審議官
篠田商工労働部商工振興金融課長

③　熊本市及び自民党県連、公明党熊本県本部

ア　月日：８月１０日（水）
場所：熊本市役所
対応：（協会）住永会長、専務理事、事務局長
（熊本市）経済観光局　田上局長、村上総括審議員、西山産業部長、光安副課長
場所：自民党熊本県支部連合会
対応：（協会）住永会長、専務理事、事務局長
（県連）松田三郎幹事長
場所：公明党熊本県本部
対応：（協会）住永会長、専務理事、事務局長
（県連）事務局長

イ　月日：１２月５日（月）
場所：ホテル熊本テルサ　（自民党県連各種団体の県への予算要望聴取の会）
対応：（協会）住永会長、専務理事、事務局長

（県連）県連幹部

④　熊本県に対する陳情要望
月日:９月７日（水）
場所:熊本県庁商工労働部長室
対応:（協会）住永会長、専務理事、常務理事
（ 県 ）商工労働部三輪部長

⑤　県下４５自治体に対する要望
熊本市をはじめ、県内の各市町村に燃料高騰に係る支援の要望書を送付するとともに、県内各支部が中心となり、所在の市町村に対して要望活動を現在した。
結果、次の自治体から支援が行われた。
熊本県、八代市、人吉市、荒尾市、水俣市、玉名市、天草市、山鹿市、宇土市、上天草市、合志市、苓北町、和水町

⑥　県選出国会議員に対する陳情要望
月日：１２月５日（月）
場所:ホテルニューオータニ
対応:（協会）正副会長（５名）、女性部会竹下部会長、青年部会堀内部会長、専務理事、常務理事、事務局長
（国会議員）金子恭之氏、坂本哲志氏、西野太亮氏、松村祥史氏、馬場成志氏、藤木眞也氏

（３）「標準的な運賃」の活用に向けた積極的な周知　　公益１－【５】－〈１〉 －〈カ〉
改正貨物自動車運送事業法の周知徹底及び「標準的な運賃」の浸透を図るため、業界内外に対する意識啓発を行い、実効性ある活用に向けた普及促進に努めるとともに、交渉のための運賃・料金変更届出に係る周知を行い、併せて積極的な活用を促進するため、次のとおり取り組んだ。

①　荷主を含む、一般の方々への周知のための広報
第２回総務・交付金運営員会で広告会社を選定し、理事会承認のもと、標準的な運賃についてのテレビCMを放送するため、契約を行い、次のとおりテレビCMを行った。
令和４年１１月から令和５年２月の４か月間（テレビ４７本を放送）
（テレビCM放送　ＫＫＴ９本、ＴＫＵ１７本、ＫＡＢ１３本、ＲＫＫ８本）。
また、併せて、Ｗｅｂ、ＳＮＳ広告、屋外広告（Wao!Vision）などにより周知を行った。
Ｗｅｂ広告（熊本経済新聞ＨＰ）　令和４年１１月７日～令和５年２月７日まで
ＳＮＳ広告（Facebook、instagram）令和５年１月１日～１月３０日まで
Wao!Vision　令和４年１１月１日～１１月３０日まで

②　協会ホームページによる周知
協会ホームページに標準的な運賃の専用バナー広告を制作するとともに、熊本起点の

「標準的な運賃」に基づく概算運賃一覧の添付とともに、国土交通省や全ト協の標準的な運賃解説サイトへのリンクを張って周知を図った。

③　ラジオCMでの周知

熊本シティＦＭでのＣＭ放送により周知を図った。

（4）災害発生に備えた人材の育成及び各種防災訓練への参加対応等　**公益１−【３】**

①　自然災害や特定家畜伝染病の防疫活動に係る緊急物資輸送に対応できる「災害物流専門家」を育成するとともに、県内自治体にも緊急物資輸送に係る情報共有を図るため、専門講師を招へいし、講習会を行った。

月日:　８月２３日(火)～８月２４日(水)

場所:　熊ト協会議室

受講者：延８６名

講師:（株）ＮＸ総合研究所　シニアコンサルタント　佐藤　大二郎　氏

コンサルタント　佐伯　剛　氏

熊本地方気象台　リスクコミュニケーション推進官　宮田　浩　氏

（公社）熊本県トラック協会　前専務理事　吉住　潔　氏

②　各自治体等が行う防災会議及び防災訓練等に対する参加

協定を締結した各自治体が行う防災会議及び防災訓練について、指定地方公共機関として各支部と連携を図り、積極的に防災会議等に参加した。　**公益１−【３】**

ア　会議名:熊本県防災会議

月日:５月１７日（火）

場所:ホテル熊本テルサ　１階テルサホール

対応者:専務理事

イ　会議名:八代市防災会議及び国民保護協議会会議

月日:５月３０日(月)

場所：八代市役所

対応者:城南支部事務局長

ウ　会議名:熊本県災害救助法に係る連絡調整会議（熊本県及び熊本市共同主催）

月日:６月８日（水）

場所:県庁本館　１３階展望会議室

対応者:専務理事、事務局長

エ　会議名:荒尾市防災会議

月日:７月２８日(木)

場所：荒尾市役所

対応者:玉名支部事務局

オ　会議名:八代市防災会議

月日:８月５日(金)

場所：八代市役所

対応者:城南支部事務局長

カ　会議名:　熊本市防災関係機関連絡協議会総会（書面会議）

月日:　８月５日(金)

キ　会議名:荒尾市防災会議

月日:９月２９日(木)

場所 : 荒尾市役所

対応者:玉名支部事務局

③ 防災訓練実施状況

ア　八代市主催

月日:１０月２日(日)

場所:八代市球磨川河川敷他

対応者:城南支部事務局（１名)、トラック１台出動

イ　熊本市主催

月日:１０月１６日(日)　予定

場所:熊本市

対応者:熊ト協事務局（２名)、１０トン車１台出動

ウ　荒尾市主催

月日:１１月１３日(日)　荒天により、緊急物資輸送訓練は中止

場所:荒尾市役所他

~~対応者:玉名支部事務局（１名)、トラック３台出動~~

エ　水俣市主催

月日:　１１月１３日(日)

場所:水俣市　水俣広域公園（エコパーク水俣)

対応者:城南支部事務局（１名)、トラック１台出動

２．重点項目

（1）トラックの日の実施について　**公益1-【1】-〈2〉**

コロナ禍で出かける機会が少なくなった子供たちに元気で笑顔になってもらうため、感染防止対策の観点からソーシャルディスタンスを踏まえたドライブインシアター形式でのイベントを行うとともに検討会議を行った。

日時 : 令和４年１０月８日（土）１８時３０分～２０時４０分

場所 : 熊本港特設駐車場

来場者 : 車両６４台（約２５３人)

対応者 : 協会長及び実行委員、協会役職員等　３１人、

また、「トラックの日」（１０月９日）のＰＲとドライブインシアターの実施について、広告掲載を次のとおり行った。

期日 : ９月１８日（土)、１０月９日（日）熊本リビング新聞・・・全５段カラー広告

期日 : ８月２７日（土)、１０月８日（日）熊本リビング新聞・・・全５段カラー広告

期日 : ９月１日（木)、　求人誌パコラ・・・４枠カラー広告

第１回「トラックの日」実行委員会　５月３０日(月)開催
第２回「トラックの日」実行委員会　７月　４日(月)開催
第３回「トラックの日」実行委員会　８月１０日(水)書面開催

（２）広報誌等による情報提供　**他１－４**

月刊広報誌「トラック広報くまもと」を発行し、最新情報の共有、セミナー等事業の実施に係る周知、これらの実施報告等について会員企業等に対してタイムリーに情報提供を行った。また、広報誌、ホームページ等の媒体に広告の掲載を行うことにより、会員企業に対し、有益な情報提供を行うとともに、永続的な公益事業等を行うための事業収入の確保を図った。

４月号（№４７５）～３月号（№４８６）発刊
広報誌掲載広告１２社、折り込み広告１０社１４件

（３）メディア及びホームページ等の活用　**公益１－【１】－〈１〉**

トラック運送事業に対する一般消費者のより一層の理解促進とトラック運送事業の現状を周知すること等を目的に、マスメディア、協会ホームページを活用し広報活動を行った。

1.　ラジオ

ア　ＲＫＫ

・登下校インフォメーション
　４月～６月
・みんなで交通安全「一旦停止」啓発キャンペーン
　春（１５本)、秋（１５本)

イ　熊本シティＦＭ

・ＦＭ７９．１防災コミュニティパートナー
　４月～２月（１２０本)
・ＦＭ７９．１生読みインフォメーション（６回)

ウ　エフエム熊本

・スマイルドライブキャンペーン
　８月～９月

2.　新聞・雑誌

ア　熊本日日新聞

・　７月２９日(金)掲載　2022県政特集への協賛広告（広告)
・　８月１０日(水)掲載　「ＮＯ飲酒運転ＫＵＭＡＭＯＴＯ」名刺広告（広告)
・　８月１８日(木)掲載　「ＮＯ飲酒運転ＫＵＭＡＭＯＴＯ」名刺広告（広告)
・　８月２３日(火)掲載　「ＮＯ飲酒運転ＫＵＭＡＭＯＴＯ」名刺広告（広告)
・　８月２６日(金)掲載　「ＮＯ飲酒運転ＫＵＭＡＭＯＴＯ」名刺広告（広告)
・　８月３１日(水)掲載　「ＮＯ飲酒運転ＫＵＭＡＭＯＴＯ」名刺広告（広告)
・１１月３０日(水)掲載　「ＮＯ飲酒運転ＫＵＭＡＭＯＴＯ」名刺広告（広告)
・１２月１８日(日)掲載　「ＮＯ飲酒運転ＫＵＭＡＭＯＴＯ」名刺広告（広告)
・１２月２０日(火)掲載　「ＮＯ飲酒運転ＫＵＭＡＭＯＴＯ」名刺広告（広告)
・１２月２６日(月)掲載　「ＮＯ飲酒運転ＫＵＭＡＭＯＴＯ」名刺広告（広告)

・１２月３０日(金)掲載　「NO飲酒運転KUMAMOTO」名刺広告（広告）

・　４月２８日(木)掲載　燃料高騰、人手不足について（掲載記事）
・　６月１１日(土)掲載　タクシー協会と連名での熊本県へ燃料高騰要望（掲載記事）
・　６月１７日(金)掲載　通常総会開催（掲載記事）
・　８月２４日(水)掲載　災害物流専門家研修（掲載記事）
・　９月２９日(木)掲載　九州学院高校出前授業（掲載記事）
・１０月　３日(火)掲載　交通安全街頭キャンペーン（掲載記事）
・１１月２１日(月)掲載　2024年問題へ対応（掲載記事）
・１１月２９日(火)掲載　Ｇマーク熊本運輸支局長表彰（掲載記事）
・　１月２９日(日)掲載　経営セミナー開催（掲載記事）

イ　物流ニッポン

・　４月　５日(火)掲載　春の全国交通安全運動名刺広告（広告）
・　７月１９日(火)掲載　書中名刺広告（広告）
・　９月２０日(火)掲載　秋の全国交通安全運動名刺広告（広告）
・１０月１４日(火)掲載　全ト協事業者大会特集（広告）
・　１月１０日(火)掲載　2023新年特集名刺広告（広告）
・　２月２１日(火)掲載　ロジスティクス最前線／九州・沖縄版（広告）
・　４月　５日(火)掲載　トラックの森づくり（掲載記事）
・　４月２９日(金)掲載　交通安全街頭キャンペーン（掲載記事）
・　５月２７日(金)掲載　Ｇマーク説明会（掲載記事）
・　５月３１日(火)掲載　「買いたたき」注意喚起文書（掲載記事）
・　６月　３日(金)掲載　ＳＤＧｓセミナー（掲載記事）
・　６月２４日(金)掲載　燃料費補助制度の要望活動（掲載記事）
・　６月２８日(火)掲載　通常総会開催（掲載記事）
・　７月　１日(金)掲載　開新高校で物流出前授業（掲載記事）
・　７月１２日(火)掲載　鹿本農業高校で物流出前授業（掲載記事）
・　７月２２日(金)掲載　トラックドライバー・コンテスト（掲載記事）
・　８月　２日(金)掲載　2024年問題（外国人ドライバー）会長取材記事
　　熊本県へ要望書提出（掲載記事）
　　学園大学で物流出前授業（掲載記事）
・　９月　６日(火)掲載　災害物流専門家研修（掲載記事）
・　９月２３日(金)掲載　トラックの日開催に係る件（掲載記事）
・１０月　４日(火)掲載　環境クリーンキャンペーン（掲載記事）
・１０月１１日(火)掲載　九州学院高校で物流出前授業（掲載記事）
・１０月１４日(金)掲載　交通安全街頭キャンペーン（掲載記事）
・１０月１８日(火)掲載　事故防止大会開催（掲載記事）
・１０月２１日(金)掲載　トラックの日（ドライブインシアター）（掲載記事）
・１１月　４日(金)掲載　Ｇマーク九州運輸局長表彰（掲載記事）
・１１月　８日(火)掲載　南九州四県木材部会開催（掲載記事）

・１１月１５日(火)掲載　青年部会設立４０周年（掲載記事）
・１１月１５日(火)掲載　熊本学園大学で物流出前授業（掲載記事）
・１２月２０日(火)掲載　年末年始の交通事故防止運動（掲載記事）
・　１月　３日(火)掲載　お仕事探検フェア出展（掲載記事）
・　１月１０日(火)掲載　交通安全街頭キャンペーン（掲載記事）
・　２月　７日(火)掲載　荷主企業・団体に依頼文書（掲載記事）
・　　〃　　経営セミナー　　（掲載記事）
・　２月２１日(火)掲載　熊本国府高校で物流出前授業（掲載記事）
・　　〃　　熊ト協食料品部会が研修会等を開催（掲載記事）
・　３月　３日(金)掲載　新入学児童への交通安全用品寄贈（掲載記事）
・　３月２８日(火)掲載　取引環境労働改善協議会の開催（掲載記事）
・　３月３１日(金)掲載　宇土市新庁舎で記念植樹式（掲載記事）

ウ　輸送経済新聞
・　７月１９日(火)掲載　暑中名刺広告（広告）
・　８月２３日(火)掲載　西日本ブロック特集号名刺広告（広告）
・１０月４日(火)掲載　全ト協事業者大会特集名刺広告（広告）

エ　カーゴニュース
・　７月２８日(木)掲載　会長取材

オ　くまもと経済
・９月号掲載　運賃引き上げ交渉の側面支援強化へ（広告）
・　４月号掲載　新入学児童向け交通安全用品贈呈（掲載記事）
・　５月号掲載　交通安全街頭キャンペーン（掲載記事）
・　５月号掲載　トラックの森づくり八代市苗木寄贈（掲載記事）
・　７月号掲載　ＳＤＧｓセミナー開催（掲載記事）
・　７月号掲載　燃料費負担軽減への支援要請（掲載記事）
・　８月号掲載　鹿本農業高校、開新高校で物流出前授業（掲載記事）
・　８月号掲載　通常総会開催（掲載記事）
・　８月号掲載　トラックドライバー・コンテスト（掲載記事）
・　９月号掲載　運賃引き上げの交渉環境整備に尽力（掲載記事）
・　９月号掲載　熊本学園大学で物流出前授業（掲載記事）
・　９月号掲載　燃料高騰に対する支援など要望（掲載記事）
・１１月号掲載　交通安全街頭キャンペーン（掲載記事）
・１１月号掲載　トラックの日（ドライブインシアター）（掲載記事）
・１１月号掲載　九州学院高校で物流出前授業（掲載記事）
・１２月号掲載　青年部会４０周年記念式典開催（掲載記事）
・１２月号掲載　環境クリーンキャンペーン展開（掲載記事）
・１２月号掲載　南九州四県合同木材輸送部会（掲載記事）
・　１月号掲載　熊本展望2023トップに聞く熊本の明日（掲載記事）
・　２月号掲載　交通安全街頭キャンペーン（掲載記事）
・　３月号掲載　リーダーズ熊本2023（掲載記事）

・　３月号掲載　経営セミナー及び賀詞交歓会（掲載記事）
・　３月号掲載　県内３会場での企業合同説明会（掲載記事）
・　３月号掲載　熊本国府高校で物流出前授業（掲載記事）

カ　リビング熊本記事広告

・４月３０日(土)掲載　春の全国交通安全運動　名刺広告（広告）
・８月２７日(土)掲載　トラックの日イベント告知１回目（広告）
・９月１０日(土)掲載　トラックの日イベント告知２回目（広告）

キ　月刊中央会

・８月号掲載　燃料価格上昇分の買いたたきに係る周知（広告）

3.Ｗｅｂ広告

Web広告を活用した飲酒運転根絶のための啓発キャンペーンを熊本県警察と連携して次の期間実施した。(Yahoo、googleに令和５年２月１日～２月２８日まで広告掲出)

（4）各種表彰関係　**他1-5**

①　永年継続企業表彰

被表彰会員企業　５社

②　無事故チャレンジ運動

三者連名表彰２８事業所、協会長表彰１８３事業所　計２１１事業所

③　国土交通大臣表彰

被上申者　３名

④　九州運輸局長表彰

ア　事業役員表彰

被上申者　４名

イ　従業員部門表彰

被上申者　７名

ウ　運転者部門表彰

被上申者　３名

⑤　九州運輸局自動車運送事業者無事故表彰（第１回表彰）

月日:９月１日(木)
場所:熊本運輸支局
被表彰者　２事業者

⑥　九州運輸局自動車運送事業者無事故表彰（第２回表彰）

月日:３月１日(水)
場所:熊本運輸支局
被表彰者　４事業者

⑦　安全性優良事業所表彰（Ｇマーク・九州運輸局長表彰）

月日:１０月２１日(金)
予定場所:九州運輸局
被表彰事業所　２事業所

⑧　安全性優良事業所表彰（Ｇマーク・熊本運輸支局長表彰）
月日:１１月２５日(金)
予定場所:熊本運輸支局
被表彰事業所　５事業所
⑨　全ト協優秀運転者顕章
金十字１４名、銀十字１０４名、合計１１８名

（5）協会事務局の強化及び業務の見直し　**法人会計**
協会の業務の効率化及び会員サービスにつなげるため、各種団体等主催の研修会、セミナーなどに積極的に参加するとともに、顧問社労士によるパワハラ防止講習会を実施するなど、事務局員の資質向上のための対応を図った。

（6）環境・ＳＤＧｓ対策の推進
ＳＤＧｓ（持続可能な開発目標）への対応として、専門講師を招へいし、ＳＤＧｓセミナーを開催し、業界向けの周知活動を行った。
日時：令和４年５月１９日（木）午後１時３０分～午後４時００分
場所：熊ト協会議室
参加者：１７事業所１８名
講演（1）「今すぐできる！トラック運送業事業者のＳＤＧｓ経営」
～熊本県ＳＤＧｓ登録制度を活かし、事業発展を～
講師　　三井住友海上経営サポートセンター
中小企業診断士・社会保険労務士　冨永　剛生様
講演（2）「SDGs経営のスタートライン～自社事業との紐づけをやってみよう！」
講師　　肥後銀行法人コンサルティング部　法人コンサルティング室
推進役代理　　小山　はるか様

３．全ト協と連携して行った項目

（1）高速道路通行料金の割引の拡充及び重要物流道路等
広域道路ネットワークの整備など使いやすい道路の実現　公益１
①　大口・多頻度割引は、一定額以上の利用の場合に、３０,０００円以下の部分を含め、割引額を割引対象額の５０％とする割引制度の拡充について要望活動を行った。
その結果、令和４年度末（令和５年３月末）で期限を迎える最大割引率５０％の拡充措置については、令和４年度第２次補正予算（令和４年１２月２日成立）において約７８億円が措置され、ＥＴＣ２．０を利用する自動車運送事業者を対象とした大口・多頻度割引の最大割引率５０％の拡充措置が令和５年度末（令和６年３月末）まで延長されることになった。
②　高速道路料金の更なる割引の拡充
・ＮＥＸＣＯ３社における高速道路料金の引下げや割引の拡充に向け、３つの料金水準（普通区間、大都市近郊区間、海峡部等特別区間）の引下げ、長距離逓減割引の拡充、深夜割引の拡充、渋滞対策等に資する料金・割引制度の設定について要望活動を行った。
・高速道路料金の割引の拡充について、かねてより深夜割引時間帯の拡大や長距離逓減割引の

拡充などを要望してきたところであるが、国土幹線道路部会の中間答申（令和３年８月）を踏まえ、国土交通省道路局より示された深夜割引見直し案について、長距離利用者への配慮に関する要望を行った結果、

〇深夜割引の適用時間帯に走行した分を３割引

〇深夜割引の適用時間帯を現行の０時～４時を２２時～翌５時に拡充

〇長距離利用者の負担軽減措置として、４００ｋｍ超の長距離逓減を拡充

〇見直しから５年程度の激変緩和措置として、深夜割引時間帯に一定以上の距離を走行し、かつ1,０００ｋｍ以上走行した場合は、１,０００ｋｍを超えて走行した分を深夜割引の対象とする距離に加算（本措置とあわせて、２２時台に高速道路を流出した場合、深夜割引の割引率を３割から２割に縮小）との内容で、令和６年度中を目途に見直しすることが発表された。（令和5年1月20日）

・本四高速における高速道路料金の割引制度の拡充に向け、大口・多頻度割引５０％枠の設定、深夜割引の導入、ＮＥＸＣＯの走行距離と合算した長距離逓減割引の導入等について要望活動を行った。

③　中継物流拠点の整備・拡充等による中継輸送の推進

・中継輸送はドライバーの労働環境の改善や法令順守に大きく寄与することから、三大都市圏や地方都市圏相互の中間地点に中継物流拠点が整備されるよう要望活動を行った。

・九州－関西間の中継輸送について、国土交通省が令和４年３月に山陽自動車道の宮島ＳＡで実施した実証実験の結果を踏まえ、本格的な中継拠点となる「コネクトパーキング宮島」が整備されることが発表された。

④　道路通行及び車両に関する制度の簡素化及び規制緩和要望の推進

・特殊車両通行許可制度及び基準緩和自動車認定制度の諸課題改善に向け、重量部会、鉄骨・橋梁部会、鉄鋼部会の３部会合同で検討を行い、国土交通省道路局長及び自動車局長に対して、夜間通行条件の緩和や誘導車配置条件の見直し、ＮＲ装置の空車時の解除等の要望活動を行った。

・特殊車両通行許可の手続き等の迅速化に資する道路関係情報のデジタル化（道路情報便　覧への収録）に向け、国土交通省道路局道路交通管理課に対して、各都道府県トラック協会の会員事業者から受け付けた2,７０８区間の要望活動を行った。

（２）自動車関係諸税の簡素化・軽減の実現

・要望活動については、政府与党の国会議員に対し積極的に陳情活動を展開するとともに、公明党トラック議員懇話会（１０月１８日）、自由民主党予算・税制等に関する政策懇談会（１１月２日）、自由民主党自動車議連自動車政策懇談会（１１月２１日）において強力に要望した。

・税制改正の結果は、政府において令和５年度税制改正大綱を令和４年１２月２３日に閣議決定し、税制改正関連法案は令和５年３月２８日に国会で成立した。トラック運送業界に関係する主な内容は以下のとおりであった。

①車両総重量３．５トン以上の普通貨物自動車も対象となる「中小企業投資促進税制」については、適用期限が２年間延長された。

②自動車税における営自格差は堅持された。

③自動車重量税のエコカー減税については、現行措置を令和５年１２月末まで維持するとともに、令和６年１月から燃費基準の達成度を段階的に引き上げた上で現行措置の維持期間を含め適用期限が合計３年間延長された。

④自動車税環境性能割の特例措置については、現行措置を令和５年１２月末まで維持するとともに、税率区分を段階的に引き上げること等を踏まえ次回見直しは３年後とされた。

⑤ＡＳＶ特例措置については、側方衝突警報装置に係る自動車税（環境性能割）の特例措置が令和６年４月まで適用期限が延長された。また、対象装置として衝突被害軽減ブレーキ（歩行者検知機能付き）が追加された（自動車重量税：３年、自動車税（環境性能割）：２年)。

⑥自動車税のグリーン化特例については、適用期限が３年延長された。

⑦中小企業・協同組合等の法人税率の特例措置及び中小企業経営強化税制については、適用期限が２年間延長された。

⑧中小企業防災・減災投資促進税制（特定事業継続力強化設備等の特別償却制度）については、適用要件を見直した上で適用期限が２年間延長された。

（３）環境・ＳＤＧｓ対策の推進　**公益１**

①「環境ビジョン2030」の推進

・令和４年３月に策定した「トラック運送業界の環境ビジョン２０３０」のサブ目標２　として、運送事業者が自社の排出量を把握することを目指しており、ＣＯ２の排出量を簡易的に算定するためのツールと使い方マニュアルを作成・公表した。

②ＳＤＧｓ（持続可能な開発目標）への対応

・ＳＤＧｓの理解促進と日々の事業との関連性、事業活動における取り組みについて解説するパンフレット「まるわかりトラック運送事業者の今すぐできるＳＤＧｓ」を作成・配布した。

・「トラック運送業界の環境ビジョン２０３０」における「サブ目標３」の一環として取組む５月の「美化月間」に向けて、ゴミのポイ捨て対策として会員事業者の車内貼付用のステッカーを作成した。

・道路へのゴミのポイ捨て禁止を呼びかける啓発ポスター「本物のプロは道路だってきれいに使う」を作成・配布した。

（４）第２６回全国トラック運送事業者大会への参加

日　時：令和４年１０月５日（水）１３時００分～

場　所：名古屋東急ホテル　愛知県名古屋市

出席者：熊本県より２６名が参加

〔総合センター建設特別委員会〕　　公益１－【３】

災害発生時の緊急輸送体制構築と災害に対応することを目的とした総合センター建設のため、引き続き、総合センター建設特別委員会において建設面積、見積等の検討を進めた。

第１回総合センター建設特別委員会　９月２６日(月)開催

〔交通・環境対策委員会〕

１．最重点項目

（1）交通事故防止対策の推進

① 無事故チャレンジ運動の実施　**公益２-【５】**

令和４年１０月１日（土）～令和５年１月８日（日）までの１００日間、社会との共生を図りながら、公共の道路を活用し、公共輸送の使命を担うトラック運送業界においては、交通事故防止対策は最重要課題の１つであることから、年末年始の輸送繁忙期の交通量が増加する時期に、関係行政機関と連携し、交通事故ゼロを目指し、交通事故防止対策を推進した。

また、参加２５３事業所から、表彰基準を満たした２８事業所を三者連名表彰（熊本運輸支局長、熊本県警察本部交通部長、トラック協会長）、１８３事業所を協会長表彰として表彰した。（計２１１事業所）

② 交通事故・労働災害防止大会の実施　**公益２-【５】**

年末の輸送繁忙期にかけて、事業用トラックによる交通死亡事故や労働災害防止対策の推進を目的に、交通事故防止及び労働災害防止研修会を実施した。

日　　時：令和４年１０月４日（火）１３時３０分～１６時００分
場　　所：ホテル熊本テルサ　テルサホール
参 加 者：７５事業所７５名
講 演 Ⅰ：「トラック運送業界における交通事故防止対策及び今後の諸課題について」
講　　師：㈱瀧澤・佐藤事務所　瀧澤　学　氏
講 演 Ⅱ：「労働災害防止対策について」
講　　師：熊本労働局健康安全課　安全専門官　吉田　健　氏

③ 交通安全街頭キャンペーンの実施　**公益２-【５】**

各交通安全運動の実施に併せて、熊本県警協力のもと、南九州交通共済協同組合及び自動車安全運転センター熊本県事務所と合同で、熊本県内の交通事故が多発している交差点において、トラックドライバーや一般ドライバーに対して、安全運転を呼びかけ、交通事故防止を図るため街頭キャンペーンを実施した。

ア　春の全国交通安全運動
　日　時：令和４年　４月１５日（金）１４時００分～１４時３０分
　場　所：益城熊本空港ＩＣ西交差点（熊本市東区）
　参加者：２３名

イ　秋の全国交通安全運動
　日　時：令和４年　９月３０日（金）１５時００分～１５時３０分
　場　所：熊本市民病院前交差点（熊本市東区）
　参加者：２３名

ウ　年末年始の交通事故防止運動
　期　日：令和４年１２月１６日（金）１４時００分～１５時００分
　場　所：益城熊本空港ＩＣ西交差点（熊本市東区）
　参加者：２４名

④ 第４２回熊本県トラックドライバー・コンテストの実施　**公益２-【５】**

運転技能と関係法令及び車両構造等に係る専門的な知識を競い、他の模範となることで、

社会的責務を担うトラックドライバーとしての自覚と誇りを醸成し、交通事故防止の推進と環境負荷の低減に寄与することを目的に、第１部（全国大会選抜競技）及び第２部（県大会チャレンジ競技）、第３部（ステップアップ競技）の３部構成で実施した。

また、県大会の第１部の中型車部門、大型車部門、女性部門の選手は、令和４年１０月２２日（土）～２４日（月）、自動車安全運転センター安全運転中央研修所（茨城県ひたちなか市）において開催された全国大会に出場し、女性部門に出場された田嶋幸代選手が全国第５位に入賞した。

開催日：令和４年７月１０日（日）

場　所：八代ドライビングスクール

参加者：１４事業所２８名

【第１部】

中型車部門９名、大型車部門９名、けん引車部門４名、女性部門１名

【第２部】

大型車部門１名、けん引車部門２名、ダンプ部門２名

【部門別優勝者】

部　門　別	所　　属	選　手　名
第１部		
中型車部門	日通熊本トラック㈱	永田　卓
大型車部門	南九州センコー㈱八代営業所	東山　知央 （総合優勝）
けん引車部門	熊本旭運輸㈱	村上　恭介
女性部門	㈱ランテック熊本支店	田嶋　幸代
第２部		
大型車部門	松木運輸㈱	佐藤　雄一
けん引車部門	㈱亀万運送南九州支店	松尾　宏臣
ダンプ部門	ＣａｒｒｙMAMA㈱	池田　桃佳

（敬称略）

⑤　事故防止用品の作成　公益２-【１】-〈４〉

新入学児童に対する交通事故防止用品を各地域振興局単位の教育事務所を通じて、当該地域の支部長より、教育事務所長宛てに新入学児童の交通事故防止を目的として、令和５年２月から３月にかけて、交通事故防止関連用品として、メッシュケース（１８，５００枚）を寄贈した。

また、事業者やトラックドライバーに対する交通事故防止の啓発を図るため、交通渋滞予想地域及び熊本県交通安全川柳標語入りカレンダーを１，６００部配布した。

なお、年末年始に、飲酒運転事故が発生したため、全会員事業者に飲酒運転根絶ポスターを配布し、飲酒運転撲滅に向けて意識啓発を行った。

⑥ 事業用貨物自動車の業務中における交通事故発生状況（２０２２年中）

《熊本県警察本部資料》

	発生件数	死 者 数	負傷者数	飲酒運転
大 型 貨 物	４４（＋１１）	１（－１）	６２（＋１９）	０（±０）
中 型 貨 物	１５（－７）	１（±０）	１８（－１３）	１（＋１）
準中型貨物	１３（＋７）	０（－１）	１６（＋１０）	０（±０）
普 通 貨 物	１（±０）	０（±０）	２（＋１）	０（±０）
合　　計	７３（＋１１）	２（－２）	９８（＋１７）	１（＋１）

（　）内は、前年対比

【目　標】

〇発生件数　　６０件以下
〇死者数　　０人
〇負傷者数　　８０人以下
〇飲酒運転　　０件

※今年度の目標は達成できなったが、来年度は、飲酒運転を含めた交通事故防止対策の徹底強化を行う。

（２）安全教育の普及促進

①　ドライバー等安全教育訓練助成事業の周知　**公益２-【２】-〈６〉**

全ト協が助成するトラックドライバー及び安全運転管理者等を対象とした安全運転研修所における安全教育訓練について、広報紙及びホームページ等で普及促進を図った。

参加者：延べ２社４名参加

②　安全運転研修会の実施　**公益２-【２】-〈６〉**

「貨物自動車運送事業者が運転者に対して行う指導及び監督」に基づく、初任運転者等教育の研修会を福岡県おんが自動車学校、八代ドライビングスクールで開催した。

また、交通事故防止に関する知識及び省燃費運転による運転技能向上等を目的に、ドライバー等を対象とした研修会を八代ドライビングスクールで開催した。

ア　福岡県おんが自動車
　開催期間及び参加人員（２日コース　一般・初任運転者、指導監督者研修）
　参加者：延べ１１社１４名

イ　八代ドライビングスクール
　開催期間及び参加人員（２日コース　一般・初任運転者、指導監督者研修）
　参加者：延べ１５社１９名

ウ　開催期間及び参加人員（１日コース　省燃費等・安全運転研修）
　参加者：延べ４１社５６名

③　交通事故統計の情報提供　**公益２-【１】-〈１〉**

交通事故防止の意識向上及び安全運転の啓発並びに運転者に対する指導・監督の際の資料に活用できるよう事業用トラックの交通事故統計（熊本県警察資料）を「トラック広報くまもと」に掲載した。

④　各種交通安全運動の実施　公益２-【５】

各交通安全運動への積極的な参加を周知徹底するため、交通安全懸垂幕の掲示やトラック広報くまもとへ掲載するなど、各種交通安全キャンペーンに取り組んだ。

ア　春の全国交通安全運動

令和４年　４月　６日（水）～令和４年　４月１５日（金）

イ　秋の全国交通安全運動

令和４年　９月２１日（水）～令和４年　９月３０日（金）

ウ　正しい運転･明るい輸送運動

令和４年１１月１６日（水）～令和５年　１月１０日（火）

エ　年末年始の輸送等安全総点検

令和４年１２月１０日（土）～令和５年　１月１０日（火）

オ　年末年始の交通事故防止運動

令和４年１２月２１日（水）～令和５年　１月　３日（火）

２．重点項目

（１）渋滞箇所及び駐車スペースや休憩・休息施設の整備・拡充　公益１-【５】

労働環境改善による安全運転確保のために、渋滞箇所の改善や十分な休憩を確保できる施設として、ＳＡ・ＰＡ、道の駅における大型車、または、特大車用の駐車スペースや、休憩・休息施設となる建屋内設備の整備・拡充について、会員事業者の意見を踏まえながら、全ト協及び関係機関と連携して、働きかけを行った。

（２）都市計画変更等に伴う荷さばき施設設置の対応　公益１-【５】

熊本市駐車場適正配置検討委員会に参画し、都市計画変更に伴う駐車場配置等の適正化に向けた附置義務条例改正等の施策の推進に伴い、輸送効率の向上及び労働環境の改善による過労運転防止を目的とした荷さばき施設の設置に向けた対応の取り組みを行った。

（３）環境クリーンキャンペーンの実施　公益４-【１】-ア

「トラックの日」の関連事業として、１０月を「環境月間」と定め、令和４年１０月１５日（土）を「実施統一の日」として、各支部の会員事業所のドライバーやその家族、地元地域の小中学生、協会役員等により、令和４年１０月１日（土）～１０月２３日（日）にかけて、日頃利用している道路に感謝を込めて、幹線道路やその周辺地域において清掃活動を行った。（１２支部８７１名参加)。

（４）「トラックの森」づくり緑化推進事業　公益４-【１】-ウ

CO_2の削減に寄与することを目的に、「トラックの森」づくり緑化推進事業に取り組みとして、熊本地震等の影響を受け建て替えが行われた宇土市役所新庁舎へ令和５年３月１６日（木）に記念植樹を寄贈し贈呈式を行った。

また、平成２６年１月に旧弓ヶ浜荘跡地（上天草市大矢野町）にサクラ、モミジ、ツツジ等の植樹後に繁茂した雑草などの下草刈りを令和４年９月５日（月）に行った。

（５）各種助成事業

交付金等助成事業の活用を促進するため、熊本県トラック協会の助成事業の目的、申請方法等をトラック広報くまもとで周知した。

① ドライブレコーダー機器導入促進助成　**公益２-【２】-（４）**

３１社　　６７台　１，０８０千円

② 安全装置等導入促進助成　**公益２-【２】-（２）**

６３社　１０５台　３，０２７千円

③ アルコール検知器助成　**公益２-【２】-（１）**

２０社　　３５台　　４３３千円

④ 低公害車導入促進助成（ＣＮＧ車、ﾊｲﾌﾞﾘｯﾄﾞ車）　**公益４-【２】-〈１〉**

１社　　４台　　３８４千円

⑤ グリーン経営認証取得助成　**公益４-【２】-〈２〉**

１６事業所　　６９２千円

⑥ 点呼支援機器等導入助成　**公益４-【２】**

２事業所　　２００千円

⑦ ポスト新長期車両に対する融資推薦　**公益４-【３】**

環境対策を推薦するためポスト新長期規制適合車導入促進に係る融資の推薦を行うとともに、その利子の補給を行った。（推薦件数１１件）

（６）アドバイザー制度の導入　**他１**

会員の経営に資するため法律・経営・労務に関する専門のアドバイザーに業務を委託し、会員事業者からの相談・要望に対応するため、相談窓口を設置するとともに、アドバイザーの増員を図った。（相談件数：法律１件）

３．全ト協と連携して行った項目

（１）事業用トラックによる交通事故実態の把握と要因分析及び事故防止対策の啓発　**公益２-【１】**

「トラック事業における総合安全プラン２０２５」の目標達成に向けて、全ト協と連携し、事故防止対策の推進を図った。

また、車籍別、発生地域別、車両区分別、道路区分別等詳細に交通事故実態を分析・把握し、有効な事故防止対策を全ト協と連携し取り組んだ。

（２）飲酒運転根絶に向けた取り組み強化　**公益２-【１】**

全ト協作成の「飲酒運転防止対策マニュアル」を活用し、運転者等に対するアルコール検知器の携行、酒気帯びの有無の測定方法及び測定結果の確実な報告等の指導を徹底するとともに、事業用トラックが関係した飲酒運転事故事例の周知に伴う飲酒運転根絶意識の向上を全ト協と連携し取り組んだ。

（３）「重要物流道路」の追加指定や機能強化の推進　**公益１-【５】**

大型トラックが特殊車両通行許可不要でスムーズに走行できる環境の実現に向けて、重要物流道路の追加指定及び指定された区間の道路整備が早期完成・供用されるよう全ト協が行う国土交通省等に対する要望活動に全ト協と連携し取り組んだ。

（4）駐車問題見直しへの対応　**公益１－【５】**

貨物集配中の事業用トラックに係る駐車規制の見直しに伴う諸課題について、情報収集に努め、必要に応じ、改善に向けた関係機関への働きかけを全ト協と連携し取り組んだ。

〔経営改善委員会〕

１．最重点項目

（1）物流効率化促進による経営基盤強化対策の推進　**公益１－【５】－〈1〉－ウ**

荷主企業と会員事業者が、トラック運送業界を取り巻く環境や当面する課題などを共有し、輸送の効率化と高度化・多様化を求める荷主ニーズに応え、より良い輸送サービスを提供するために「経営セミナー」を新春賀詞交換会と併せて開催した。

日　時：令和５年１月２７日（金）１５：００～
場　所：ホテル日航熊本「阿蘇」
参加者：１２３名（会員９５名荷主等２８名、）
講演Ⅰ：「運輸研究者の立場から、企業に求められるもの」
　　京都大学大学院工学研究科　教授　藤井　聡　氏
講演Ⅱ：「日本の経済は良くなるのか」
　　政治ジャーナリスト　田﨑　史郎　氏

（2）運送原価管理に基づく適正運賃・料金収受の推進　**公益１－【５】－〈1〉－カ**

①　運送経営改善セミナーの開催

持続可能な運送事業に資するため、人材が集まる魅力的な業界の実現に向けた業界内の意識啓発を目的としてセミナーを開催した。

日　時：令和４年１１月４日（金）１３：３０～１５：００
場　所：（公社）熊本県トラック協会　研修センター
参加者：２５名
講　師：税理士法人Ｋ・Ｔ・TWO　代表　佐藤　敏郎　氏（公認会計士・税理士）
内　容：熊本県版経営分析に加え、直近の燃料価格、物価価格から財務データをシュミレーションし、インボイスへの対応やコスト上昇局面における対策等

②　「標準的な運賃」の活用に向けた積極的な周知及び標準貨物自動車運送約款の浸透等による適正な運賃・料金収受の推進

熊本運輸支局長、熊ト協会長との連盟による県内荷主企業約3,000社へ燃料高騰による「買いたたき」に係るご理解とご協力についての要望文書と適正な運賃・料金の収受、燃料サーチャージへのご理解についてのパンフレットを送付した。

また、改正貨物自動車運送事業法に基づく「標準的な運賃」について、業界内に対する意識啓発を目的に、全会員事業者向けに「熊本県庁起点の距離制・時間制運賃の計算例」参考資料を昨年に引き続き配布し普及促進に努めた。

③　原価意識向上のためのセミナーの開催

「標準的な運賃」の考え方を踏まえ、原価計算や自社独自の運賃表の作成、荷主との交渉方法を中心に学ぶ「『標準的な運賃』活用セミナー　応用編」を開催した。

日　時：令和４年１０月１７日（月）１３：３０～１６：３０

場　所：熊本県トラック協会　研修センター会議室

参加者：２１社２１名

内　容：「標準的な運賃」告示の概要・届出、「標準的な運賃」を踏まえた原価計算の活用（改正標準運送約款を踏まえた契約の見直し事例、取引条件見直し交渉の成功事例、運賃交渉のポイントなど）、原価計算を反映した運行形態別運賃の考え方

講　　師：日本ＰＭＩコンサルティング㈱　代表取締役　小坂　真弘　氏

④　経営分析の活用

自社の経営管理の改善等に役立てていただくため、燃料高騰下やコロナ過における熊本県下のトラック運送事業者の経営実態などについて集計調査を行い、経年比較を含めた分析結果をまとめた「熊本県版経営分析調査報告書」を作成し、会員各社の指標となるようホームページに掲載し公表した。

２．重点項目

（１）事業後継者等の人材育成　公益１－【５】－〈１〉－イ

トラック業界の次代を担う優秀な人材を育成するため、専門の講師を招聘し、人材育成セミナーを開催した。

日　時：令和４年９月　７日（水）１３：００～１７：００
令和４年９月１４日（水）１３：００～１７：００
令和４年９月２１日（水）１３：００～１７：００

場　所：熊本県トラック協会　研修センター

参加者：延べ４３名（17名、15名、11名）

講　師：株式会社日本能率協会コンサルティング
デジタルイノベーション事業本部　シニア・コンサルタント　松本　賢治　氏

内　容：「生産性向上支援訓練　ＤＸとＳＣＭ」

（２）中小トラック運送事業者のためのＩＴ活用セミナーの開催　公益１－【５】－〈１〉－キ

働き方改革に対応した労働時間短縮等、労働環境改善対策の一環として、中小トラック運送事業者における情報化推進による生産性の向上と「データ経営」による「見える化」の実現を支援するため、ＩＴ機器及びシステムの活用事例を紹介するセミナーを開催した。

日　時：令和４年１１月１７日（木）１３時３０分～１６時００分

場　所：(公社)熊本県トラック協会　研修センター

参加者：２６名

講　師：近代経営システム研究所　代表　森高　弘純　氏

（3）金融対策等の支援　**他１−２**

会員事業者の事業施設やポスト新長期規制適合車両の導入などを推進するため、近代化基金による融資の推薦とその利子補給を行った。（推薦件数９件）

（4）自営転換の推進　**公益１−【５】−〈2〉−ア**

熊ト協ホームページをリニューアルして、掲載している会員事業者の企業情報の更新を行い、自家用トラックでの輸送を行っている一般企業等に対して自営転換の推進を図った。

（登録事業者数　３３８社）

（5）アドバイザー制度の活用　**他１**

会員事業者の適正な企業経営を図ることを目的に、専門のアドバイザーに業務を委託し、会員からの法律、経営及び労務に関する各種相談事案に対して速やかに対応を図った。

（相談件数　法律１件）

（6）事業報告書及び事業実績報告書作成要領説明会の開催　**公益１−【５】−〈1〉−ア**

毎年度決算期毎に提出の必要がある事業報告書及び事業実績報告書の作成方法等について、自社の決算書などを見て作成できるよう説明会を開催し提出率の向上を図った。

日　時：令和４年６月２４日（金）１４：３０〜１５：３０

場　所：熊本県トラック協会　研修センター会議室

参加者：８社（１０名）

３．全ト協と連携して行った項目

（1）燃料高騰対策等の推進　**公益１**

燃料サーチャージ導入や価格転嫁を積極的に促進するため、全ト協や行政機関等と連携を図り、燃料サーチャージガイドライン及び下請・荷主適正取引推進ガイドラインの周知を適宜行うとともに、石油製品価格の動向調査や石油製品等の需給動向や価格の変動要因等の分析について広報誌を通じて情報提供を行った

（2）経営分析及び個別企業診断等の活用　**公益１−【５】−〈1〉−カ**

中小トラック運送事業者の経営実態を把握し、業界の指標となる経営分析報告書を作成するとともに、個別の企業診断を行い、自社の経営状態などを把握し経営改善に繋がるよう利用促進を図った。（個別企業診断希望　１７社）

（3）自家用燃料供給施設整備支援助成事業　**公益１−【３】**

運送事業者や協同組合が燃料の安定的な確保を目的に導入する自家用燃料供給施設に対する助成を行うとともに、助成を受けた供給施設の大規模災害時の際の緊急輸送時における燃料供給体制の整備を推進した。（利用なし）

（4）中小企業大学校の講座受講促進　**他１−１**

優秀な管理者等の人材を育成し、トラック運送事業者の経営基盤の一層の向上を図ることを目的に、中小企業大学校の講座受講について促進した。（申込件数３名　事業費５３．４千円）

（５）中小企業信用保険法業種指定のための輸送量等にかかる実態調査　**他１**

引き続き信用保険法に基づく業種指定を受けるため、事業者の輸送量等の調査を行った。

（２１社、年４回）

〔適正化事業委員会〕

１．最重点項目

（１）安全性評価事業（Ｇマーク制度）の積極的な推進及び普及促進策の実施　**公益３－【１】**

①　安全性優良事業所数及び認定率

２０２２年度の安全性評価事業は、１０４事業所から申請があり、新規１８事業所、初回更新２１事業所、２回目更新１５事業所、３回目更新２６事業所、４回目更新８事業所、５回目更新１３事業所の合計１０１事業所が認定を受けた。（１２月１５日公表、熊本県の認定率３３．９％）

②　安全性優良事業所の拡大及び認定取得率向上対策

巡回指導時に総合評価が良好だった事業所に評価事業の申請をするよう説明するほか、次の説明会等を開催し、取得事業所の拡大及び認定取得率の向上を図った。

ア　安全性評価事業作成要領説明会（(公社) 熊本県トラック協会研修センター）

開催日：５月１２日（木）　参加者２４事業所３０名

５月１３日（金）　参加者２５事業所３４名

イ　令和４年６月２１日～３０日　申請書類の事前確認、延べ４７事業所参加

ウ　支部毎のＧマーク説明会の開催

①天草支部　：令和４年１１月　５日（土）１６社１８名参加

②阿蘇支部　：令和４年１１月１４日（月）　９社１０名参加

③熊本東支部　：令和５年　１月１７日（火）　６社　９名参加

④熊本中支部　：令和５年　１月２０日（金）　９社１２名参加

⑤鹿本支部　：令和５年　２月　７日（火）　５社　６名参加

⑥菊池支部　：令和５年　２月１５日（水）１０社１１名参加

⑦人吉球磨支部：令和５年　２月１７日（金）　６社　７名参加

⑧城南支部　：令和５年　２月２１日（火）１６社２０名参加

⑨宇城支部　：令和５年　３月　３日（金）　５社　５名参加

③　安全性優良事業所のインセンティブ（県ト協独自）

ア　夜間従事者に対する２回目の健康診断料の一部助成　2,617名　2,617千円

イ　Ｇマークラッピングトラックの実施

㈱熊本あおぞら運輸、㈱九州運輸　の計２台が１１月から運行開始

ウ　Ｇマーク認定事業所へののぼり旗の配布　新規及び更新事業所に対し２枚配布

④　安全性優良事業所表彰

安全性優良事業所の認定を連続して１０年以上受けており、表彰要件に該当する事業所に対して、九州運輸局長表彰及び熊本運輸支局長表彰が授与された。（平成２６年度創設）

【直近５年間における、年度別表彰事業所数】

	平成26年度～平成30年度迄	令和元年度	令和２年度	令和３年度	令和４年度	合　計
九州運輸局長表彰	6	0	1	0	2	9
熊本運輸支局長表彰	２６	2	3	3	5	３９

九州運輸局長表彰式　：令和４年１０月２１日（金）　於：九州運輸局

熊本運輸支局長表彰式：令和４年１１月２５日（金）　於：熊本運輸支局

（２）適正化事業の推進による法令遵守の徹底　**公益３－【２】**

新規事業者や特別巡回指導及び総合評価が低く指導の必要性が高い事業者など、「巡回指導指針」及び「巡回指導マニュアル」に基づき、新型コロナウイルス感染症防止対策を十分に講じて巡回指導を行った。

また、巡回指導を通じて、働き方改革関連法や改正貨物自動車事業法の改正に伴う周知を行った。

【巡回指導実績表】

区　分		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
実績数		46	36	32	14	18	25	25	14	7	12	12	17	258
内訳	通常	39	36	29	12	17	21	21	13	5	0	12	16	233
	新規	4	0	3	2	0	4	3	0	2	0	0	0	18
	特別	3	0	0	0	1	0	1	1	0	0	0	1	7
	霊柩	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0

（３）改正貨物自動車運送事業法等の施行に係る対応

①　改正貨物自動車運送事業法の周知徹底、「標準的な運賃」の浸透等による適正な運賃・料金収受の推進　**公益１－【５】－<1>－（カ）**

令和６年度ドライバーの時間外労働の上限規制が適用されることを踏まえて、これまで施行された「規制の適正化」、「事業者が遵守すべき事項の明確化」、「荷主対策の深度化」に加えて、「標準的な運賃の告示制度」の内容について各種啓発リーフレットを事業所に配布し、会員事業所へ周知を行った。

②　「標準的な運賃」の告示制度の積極的な周知　**公益１－【５】－<1>－（カ）**

改正貨物自動車運送事業法に基づく「標準的な運賃」の活用状況の調査を行い、荷主との交渉状況等の実態を把握し、交渉時の成功事例等の情報共有に努め、より一層の会員各社の運賃交渉の活性化に向けた意識啓発を行い、実効性ある活用に向けた普及促進に努めた。

【標準的な運賃活用セミナーの開催状況】※再掲

標準的な運賃活用セミナー（活用編）

開催日時：令和４年１０月１７日（月）１３時３０分～

開催場所：（公社）熊本県トラック協会研修センター　参加者数２６名

【運賃・料金変更届提出状況】

届出が必要な会員事業所数　　６１６事業者

届出事業者数　５７９事業者

提出率　　９４．０％（令和５年３月末日現在）

２．重点項目

（1）運行管理者試験対策　**公益１－【５】**

会員事業者の運行管理者試験受験者の合格率向上を図るため、専門の講師を招聘し、試験対策として、講師に自動車事故対策機構熊本支所の専任講師を招聘し、運行管理者試験対策勉強会を開催した。

【運行管理者試験対策勉強会】

① 開催日時：令和４年　７月　２日（土）　グランメッセ熊本（受講者　２６名）

② 開催日時：令和４年　７月１６日（土）　グランメッセ熊本（受講者　２８名）

③ 開催日時：令和４年　７月２１日（木）　グランメッセ熊本（受講者　４１名）

④ 開催期日：令和４年　７月２６日（火）　グランメッセ熊本（受講者　５６名）

➡令和４年度第１回運行管理者試験対策勉強会受講者合計　１５１名

⑤ 開催期日：令和５年　１月１４日（土）　グランメッセ熊本（受講者　１６名）

⑥ 開催期日：令和５年　１月２１日（土）　グランメッセ熊本（受講者　３１名）

⑦ 開催期日：令和５年　１月２４日（火）　グランメッセ熊本（受講者　２３名）

⑧ 開催期日：令和５年　１月３１日（火）　グランメッセ熊本（受講者　４６名）

➡令和４年度第２回運行管理者試験対策勉強会受講者合計　１１６名

【運行管理者試験結果】

区　分	試験実施日	申請者数	受験者数	合格者数	合格率
第１回	８月６日～９月４日	３７３名	３３５名	１３７名	40.9%・全国順位9位 （全国平均38.4%）
第２回	２月１８日～３月１９日	３０３名	２７３名	８７名	31.9%・全国順位33位 （全国平均34.6%）
合　計		６７６名	６０８名	２２４名	

（2）熊本県貨物自動車運送適正化事業実施機関評議委員会の開催　**公益３**

適正化事業実施機関の組織・運営の中立性及び透明性の確立を図るため、貨物自動車運送事業法第３９条に基づき、学識経験者や荷主、マスコミ、消費者団体などで構成された評議

委員会を開催し適正化事業に関して外部からの提言を受け、公正かつ着実な運営の推進を図った。

① 令和４年度第１回　令和４年１０月２８日（金）開催

② 令和４年度第２回　令和５年　２月２７日（月）開催

（３）運輸安全マネジメントの普及拡大　**公益２－【１】**

安全性評価事業の説明会や巡回指導等を通じて、運輸安全マネジメントに関するパンフレットを配布し普及促進に努めた。また、２０２３年事故防止カレンダーの表紙を利用して運輸安全マネジメントの作成ができるよう会員事業者へ配布し、普及拡大を行った。

（４）法令の遵守及び安全対策の励行などに対する啓発　**公益２－【１】－（１）**

「トラック広報くまもと」へ関連記事を掲載するとともに、「適正化事業課だより」の文書を発出し、会員事業者に対して法令遵守、安全対策の励行等に対する啓発活動を実施した。

（５）苦情処理への適正・迅速な対応　**公益３－【３】**

一般消費者等からの運転マナーやドライバー等からの長時間労働などの苦情、相談に対して、適正・迅速に対応し解決に努めた。特に、運転マナーについては、事業所などの運行管理者へ乗務員教育の徹底を指導した。

区　分	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合 計
運転マナー	3	4	6	4	4	3	2	1	1	5	4	1	３８
違法駐車関係	0	1	0	0	2	0	2	1	0	0	0	0	６
その他	6	1	2	0	4	0	1	4	1	5	1	2	２７
合　計	9	6	8	4	10	3	5	6	2	10	5	3	７１

※その他内容：高速道路上における通行区分違反等

（６）運行管理者一般講習及び整備管理者研修費助成　**公益２－【２】－（７）（８）**

輸送の安全確保と車両管理体制の充実を図り、会員事業者の安定した事業運営及び運行管理等に資するため、運行管理者及び整備管理者の選任者に対し、２年に１回の受講義務のある研修費用の助成を行った。

① 運行管理者一般講習　　受講者数　８８３名　（計３３回開催）

② 整備管理者選任後研修　受講者数　５４４名　（計１２回開催）

（７）過積載絶滅運動月間の推進　**公益２－【１】－（３）**

「過積載絶滅運動月間（１１月１日～１１月３０日）」に、関係行政機関（熊本県過積載防止対策連絡会議）と連携を図り、過積載運行の街頭取締り及び啓発活動に参加し、運転者にチラシやグッズ等を配布した。

また、ポスターを作成し、事業者や荷主企業及び関係業界等に約１，３００枚配布し、過積載防止に対する理解と協力を求めるため広く周知を図った。

【街頭取締り及び啓発キャンペーン】

①令和４年１１月　１日（火）熊本河川国道事務所　八代維持出張所

②令和４年１１月　７日（月）八代インター
③令和４年１１月　８日（火）四方寄計量所
④令和４年１１月１１日（金）阿蘇一の宮計量所

【過積載運行に対する行政処分件数（車両の使用停止）】

管内　　年度	令和２年	令和３年	令和４年
九州運輸局管内	2	3	1
熊本運輸支局管内	0	2	1

（８）可搬式適性診断機器の利用促進　**公益２－【１】-<２>**

熊ト協及び各支部で貸出を行っている可搬式適性診断機器の活用を周知することにより、会員事業者の運転者に対する指導・監督の支援を行い、事故防止対策の促進とＧマーク認定取得の拡大を図った。

【貸出状況】　　（　）は対前年比

	上半期（４月～９月）	下半期（１０月～３月）	全期（４月～３月）
令和４年度	88事業者（△10社） 2,147名　（105名）	46事業者（△16社） 1,137名（△108名）	134事業者（△26社） 3,284名　（△3名）

（９）法令の遵守及び安全対策の励行に対する啓発　**公益２－【１】-（１）**

豪雨や積雪などの気象災害などドライバーの安全運行対策励行のために、「適正化事業課だより」（緊急通知）などの文書を発出し、会員事業者に対する輸送の安全確保の周知を図った。

「適正化事業課だより」２３件、「災害だより」９件（計３２件）の文書を発出した。

３．全ト協と連携して行う項目

（１）引越事業者優良認定制度及び消費者サービス向上　**公益３－【３】**

引越運送業務における実務担当者向けの引越管理者講習を開催し、実務担当者の資質の向上に努めるとともに、引越事業者優良認定制度の取得を促進し、一般消費者保護及び当業界のイメージアップを図った。

①　引越事業者優良認定制度

消費者に安全・安心な引越サービスを提供する事業者の情報を提供し、品質の向上を図るため引越事業者等を客観的に評価する「引越事業者優良認定制度（平成２６年度創設）」の推進を図った。

【２０２２年度　引越事業者優良認定制度に係る認定状況】

	熊　本　県	全　　国
２０２２年度	新規認定・更新無し	４１事業者（　　１２９事業所）
認定数合計	１３事業者（２２事業所）	３５４事業者（1，６７６事業所）

② 引越見積に関する引越運送約款や法令など実務担当者の資質向上を図るため、全日本トラック協会選任の講師を招聘し、引越講習会を開催した。

ア 引越基本講習

開催日時：令和４年６月２２日(水)　１０時００分～１６時００分

開催場所：(公社)熊本県トラック協会研修センター

参加者　：　８名

イ 引越管理者講習

開催日時：令和４年６月２３日(木)　１０時００分～１６時００分

開催場所：(公社)熊本県トラック協会研修センター

参加者　：１３名

（２）荷主対策の深度化の推進　　**公益１－【５】－〈1〉－（カ）**

事業者の違反行為の基となる荷主情報の収集を図るため、巡回指導時において、国土交通省の意見投稿サイトの積極的な周知を図るとともに、国土交通省等と連携し、事業者の違反原因行為をしている荷主情報の収集に努めた。

（３）適正化事業指導員に係る資質の向上　**公益３**

適正化事業実施体制の強化（人員等）を図るとともに、全ト協及び九ト協主催の適正化事業指導員研修及び小規模研修会に参加し、適正化事業指導員としての能力向上と各県との巡回指導時における適否判定の統一化を図った。

① 小規模グループ適正化事業指導員研修会（熊本県開催）

令和４年　８月１９日（金）

② 適正化事業指導員全国研修（専門研修）

令和４年　９月　１日（木）～２日（金）

③ 適正化事業指導員全国研修(初任研修)

令和４年１０月　６日(木)～７日(金)

④ 九州・沖縄ブロック適正化事業指導員研修会（福岡県開催）

令和４年１１月２９日（火）～３０日（水）

⑤ 適正化事業指導員全国研修（スキルアップ研修）

令和５年　３月２４日（金）

〔労働対策委員会〕

１．最重点項目

（１）労働力・人材確保対策の積極的な推進　**公益１－【２】－〈1〉**

① トラック運送業界の企業合同説明会の開催

関係機関等と連携し、会員企業の採用力向上と労働力・人材確保対策のため、県内３ヶ所において、「トラック運送業界の企業合同説明会」を対面型により３年ぶりに開催した。

開　催　場　所	開 催 日	参加企業数	来場者数
玉名市民会館	令和５年２月　５日（日）	５社	１２名
桜十字ホールやつしろ	令和５年２月１１日（土）	９社	１２名
グランメッセ熊本	令和５年２月１２日（日）	１６社	５７名

② 物流出前授業等の開催

高校や大学などを訪問し、物流キャリア教育、運送業界や免許制度についての説明を行い、次代を担う若者の職業選択に関する情報提供と優秀な若年労働者の育成と運送事業の社会的地位向上に向けた物流出前授業を青年部会や女性部会の協力のもと次のとおり開催した。

ア　自衛隊若年退職者　〈任期制隊員１３名〉
　開催日時：令和４年　４月１９日（火）１４時００分～１５時００分
　開催場所：陸上自衛隊北熊本駐屯地

イ　自衛隊若年退職者　〈任期制隊員１２名〉
　開催日時：令和４年　５月２４日（火）１３時００分～１４時００分
　開催場所：陸上自衛隊健軍駐屯地

ウ　開新高等学校　〈生徒３５名、教諭１名〉
　開催日時：令和４年　６月２０日（月）１３時３０分～
　開催場所：図書室

エ　鹿本農業高等学校　〈生徒４０名、教諭１名〉
　開催日時：令和４年　６月２３日（木）１３時５０分～１４時４０分
　開催場所：ラーニングルーム

オ　熊本学園大学　〈生徒１１０名、教諭１名〉
　開催日時：令和４年　７月１９日（火）９時００分～１０時３０分
　開催場所：４号館４４５号室

カ　九州学院高等学校　〈生徒１５名、教諭２名〉
　開催日時：令和４年　９月２６日（月）１６時４０分～１７時３０分
　開催場所：教室

キ　松橋高等学校　〈生徒６名、教諭１名〉
　開催日時：令和４年１１月１０日（木）１６時００分～１６時５０分
　開催場所：ラーニングルーム

ク　熊本学園大学　〈生徒　６０名、教諭１名〉
　開催日時：令和４年１１月２１日（月）１４時４０分～１５時４０分
　開催場所：１１号館４Ｆ

ケ　熊本国府高等学校　〈生徒４５０名、教諭１７名〉
　開催日時：令和５年　２月　７日（火）２時１５分～３時１５分
　開催場所：熊本国府高等学校・体育館

③ 高校新卒者等の採用促進のための総合的な対策

高校新卒者等の採用を促進し、若年ドライバーの確保を図るため、新たにサマースクールを開催。

開催日時：令和４年　９月１３日（火）１３時３０分～１５時３０分

開催場所：フクワ物流㈱益城配送センター

参 加 者：熊本学園大学商学部１０名〈学生９名、教諭１名〉

④　人材確保セミナー　**公益１－【５】－〈1〉－（イ）**

労働力の確保・定着・育成等の人材確保対策や人材定着に向けた職場環境の整備が喫緊の課題となっている状況を踏まえ、若年者、女性、高齢者の求人、採用や育成方法並びに定着に向けた労務管理、それに係る助成金等の職場環境整備を内容としたセミナーを全ト協と連携し、開催した。

開催日時：令和４年１１月２５日（金）１３時３０分～１６時３０分

開催場所：熊本県トラック協会　研修センター会議室

参加者　：２１名

講　　師：日本ＰＭＩコンサルティング㈱　代表取締役　小坂　真弘　氏

⑤　外国人労働者の活用に向けた取り組み

トラックドライバーをその対象職種とするため、外国人技能実習生制度の活用を一つの方策と捉え、運転業務全般の技能に関する項目の整理やその情報収集に努めた。

⑥　くまもとお仕事探検フェアへの参画

高校生等向けに開催された熊本県雇用環境整備協会主催のお仕事探検フェアに参画し、来場の中高生に対して、物流を支える業界の重要性に関するＰＲを行ったほか、実際にピッキングや車両への試乗体験などにより、職業としての魅力をアピールするとともに、消費者に社会的重要性を周知するなどにより、社会的地位の向上を図った。

事 業 名：「くまもとお仕事探検フェア２０２２」

来場者数：２，８１８名（高校１、２年生、中学生、教諭、保護者等）

開 催 日：令和４年１２月１３日（火）

開催場所：グランメッセ熊本・展示ホール

（２）「働き方改革」の実現に向けた対策の推進　**公益１－【５】－〈1〉**

①　「トラック輸送における取引環境・労働時間改善熊本県地方協議会」の開催

令和４年度の取り組みとして、荷待ち時間の長い「農産物・トマト輸送」のパレット化による荷待ち時間・荷役作業時間の短縮に向けた、農産物輸送の効率的・効果的な取り組みを行うための実証実験を行った。

【構成員】学識経験者、荷主企業、運送事業者、関係団体等

・第１５回熊本県地方協議会

開催日時：令和５年　３月１４日（火）１０時００分～
開催場所：（公社）熊本県トラック協会研修センター会議室
【構成員】熊本運輸支局、荷主団体、運送事業者

・トラック運転者の長時間労働抑制のための実証事業に係る事前打合せ会議
開催日時：令和４年　８月２５日（木）１４時００分～
開催場所：（公社）熊本県トラック協会研修センター会議室
出 席 者：荷主団体、運送事業者

・トラック運転者の長時間労働抑制のための実証事業に係る第１回ワーキング会議
開催日時：令和４年　９月２９日（木）１０時００分～
開催場所：熊本運輸支局会議室
出 席 者：熊本運輸支局、荷主団体、運送事業者、コンサルタント、県ト協

・トラック運転者の長時間労働抑制のための実証事業に係る第２回ワーキング会議
開催日時：令和５年　１月２３日（月）１３時３０分～
開催場所：熊本運輸支局会議室
出 席 者：熊本運輸支局、荷主団体、運送事業者、コンサルタント、県ト協

・トラック運転者の長時間労働抑制のための実証事業に係る第３回ワーキング会議
開催日時：令和５年　２月２８日（火）１０時３０分～
開催場所：（公社）熊本県トラック協会研修センター会議室
出 席 者：熊本運輸支局、荷主団体、運送事業者、コンサルタント、県ト協

②　働き方改革関連法への適切な対応

政府が進める働き方改革に伴う関連法の施行スケジュールが予定されている中、令和５年４月から月６０時間超の時間外割増率５割への引上げや令和６年４月から自動車運転業務の時間外労働の上限規制年間９６０時間、改正改善基準告示の適用などを控えており、これらの課題に対応するためセミナーや説明会等を開催し、荷主企業を含めた運送業界への理解促進を図った。

・「２０２４年問題」労務対応セミナー
開催日時：令和４年１１月１１日（金）１３時３０分～
開催場所：グランメッセ熊本・中会議室
参 加 者：６０事業所６０名 ※荷主企業５社含む
講　　師：三井住友海上経営サポートセンター　冨永　剛生　氏
テーマ　：運送業の「２０２４年問題」への労務対応

・「自動車運転者（トラック）労働時間等改善基準説明会」

令和６年４月より適用される改正改善基準告示の説明会が令和４年１１月９日（水）～２８日（月）の間、県内の各労働基準監督署において計１３回開催されることを受け、会員事業者への本説明会への参加周知を行った。

・「２０２４年問題に係る玉名支部会議」
開催場所：熊本県トラック協会
開催日時：令和４年９月２２日（木）１０時００分～

開催場所：熊本県トラック協会
開催日時：令和４年１０月２１日（金）１４時００分～

（３）「標準的な運賃」の活用に向けた積極的な周知
改正貨物自動車運送事業法の周知徹底及び「標準的な運賃」浸透に向けた業界内外に対する意識啓発を行い、実効性ある活用に向けた普及促進に努めた。
また、適正化指導員による巡回指導時に際し、運賃・料金変更届出の未届け事業者に対する提出促進を図った。

２．重点項目

（１）過労死等防止、健康状態に起因する事故及びメンタルヘルス対策の推進

① 各種セミナーの開催　**公益１－【５】－〈１〉－（エ）**
健康起因事故防止セミナーを開催し、過労死等防止並びに健康起因事故防止対策の普及・促進を図った。

・ 健康起因事故防止セミナー　**公益１－【５】**
開催日時：令和５年　２月　９日（木）１３時３０分～１６時３０分
開催場所：グランメッセ熊本・大中会議室
参 加 者：４０事業所　４５名
講　　師：ＳＯＭＰＯリスクマネジメント㈱　土谷　隆司　氏

② 助成事業　**公益２－【２】**
ア　血圧計導入促進助成　　３社　　４台　１８６，２００円

イ　睡眠時無呼吸症候群（ＳＡＳ）スクリーニング検査助成
２３社　１８６名　　９３０，０００円

（２）大型・中型・準中型・けん引免許取得助成　**公益１－【２】－〈１〉**
若年ドライバーの確保及びドライバー不足の解消を図るため、会員事業者に在籍している運転者の他、免許取得後に会員事業者に入社する一般の運転者を対象に、大型・中型・準中型免許・けん引免許の取得費用の一部を助成し、雇用の安定確保を図った。

助成件数（内訳）	大型	１０３名	７，２１０千円
	中型	２２名	１，１００千円
	準中型	６名	１８０千円

限定解除	６名	１８０千円
けん引	２５名	７５０千円
合　計	１６２名	９，４２０千円

（３）健康診断料の助成　**公益２－【２】－<２>**

運転中におけるドライバーの突発的な運転不能障害を引き起こす可能性が高い疾患を予防し、定期健康診断の受診率の向上と有所見率の低下に向けて、会員事業所に勤務するドライバーを対象に生活習慣病予防健診、一般健診及び突発性運転不能障害疾患検査（脳ドック、心臓ドック）の助成を行った。

また、深夜業務等を行っている安全性評価制度･認定事業所については、取得のインセンティブとして、特定業務従事者（夜間従事者）のドライバーに対する健診料の一部を助成した。

◇助成件数

（内訳）定期健康診断	９，４４７名	１８，８９０，７８０円
Ｇマークインセンティブ助成	２，６１７名	２，６１７，０００円
脳ドック・心臓ドック	４４名	２２０，０００円
合　計	１２，１０８名	２１，７２７，７８０円

（４）ウィズコロナ・アフターコロナへの対応　**公益１－【２】－<２>**

新型コロナウイルス感染防止対策として、ドライバー等の感染を防止し、国民生活と経済を支える持続的な物流の確保を図るため、会員事業所へサージカルマスク（不織布）の配布を行った。

・サージカルマスク全会員宛て配布　　７７０社　　計４，６００箱

３．全ト協と連携して行った項目

（１）月６０時間超えの時間外割増率５０％の周知徹底

巡回指導時や各種セミナー等を通じ、令和５年４月からの中小企業への適用について、令和６年からの時間外労働の上限規制（年９６０時間）と合わせ、周知を図った。

（２）自動車運送事業者の「働きやすい職場認証制度」の取得推進　　**公益１－【２】－<１>**

「適正化事業課だより」及びトラック広報くまもと及び熊本県トラック協会ホームページ上により、制度及び申請方法等の周知を行い、普及促進を図った。

（３）　労働災害防止対策の推進　**公益１－【５】**

熊本県トラック協会ホームページにおいて、荷主先を含めた労働災害の発生状況等の実態を調査分析・把握するため、陸上貨物運送事業労働災害防止協会等関係機関と連携を図り、第１３次労働災害防止計画（２０１８～２０２２）を踏まえた労働災害防止に取り組んだ。

（４）就職氷河期世代を対象とした短期資格等習得事業の実施　**公益１－【２】－<１>**

全ト協が国からの委託事業として実施する「就職氷河期世代の方向けの短期資格取得等習

得コース事業」について、トラック広報くまもと及び熊本県トラック協会ホームページ上により周知を行い、正社員としての就職を支援した。　　参加者数３名

〔専門部会〕　公益１-【５】-〈1〉-（ク）

現在設置されている８部会（食料品部会、木材輸送部会、重量物輸送部会、ダンプトラック部会、セメント部会、引越部会、青年部会継運会、女性部会）において、輸送秩序の確立や、事業経営の円滑化等共通の項目について推進を図った。なお、本年度の各部会の活動は次のとおり。

１．食料品部会

・県ト協関係

（1）　９月　５日（月）熊ト協会議室・第１回部会員会議

（2）　２月　６日（水）ザ・ニューホテル熊本・第２回部会員会議・研修会

・全ト協関係

（1）　８月　２日（火）ホテルグランテラス富山・第４３回食料品部会

（2）　３月　６日（月）全ト協ホール・食料品部会研修会

・九ト協関係

（1）　７月　４日（月）福ト協総合会館・第１回九州ブロック食料品部会

（2）　９月　９日（金）ザ・ニューホテル熊本・福ト協食料品部会全体会議及び研修会・実務担当者研修会

（3）　９月２２日（金）八仙閣・九州各県トラック協会食料品部会全体交流会

２．木材輸送部会

（1）　７月　５日（火）熊ト協会議室・第１回部会員会議

（2）　７月３０日（土）ＡＮＡクラウンプラザホテル熊本ニュースカイ・南九州４県合同木材輸送部会「部会長会議」

（3）１０月１９日（水）ＺＯＯＭ会議・南九州四県合同木材輸送部会「事務局会議」

（4）１０月２１日（金）ＡＮＡクラウンプラザホテル熊本ニュースカイ・第２８回南九州四県合同木材輸送部会「熊本大会」

（5）　１月１８日（水）ＴＫＰ熊本カンファレンスセンター・第２回県ト協部会員会議

３．重量物輸送部会

（1）　４月２１日（木）全ト協ホール・全ト協・重量部会常任委員会

（2）　５月３０日（月）全ト協ホール・全ト協・「ＮＲ速度抑制装置検討ワーキンググループ」

（3）　６月１４日（火）ＡＮＡクラウンプラザホテル大阪・令和４年度全ト協・重量部会総会
（4）　７月１５日（金）熊ト協会議室・第１回部会員会議
（5）１１月１６日（水）（ＷＥＢ）全ト協・重量部会　全国実務担当者研修会
（6）　~~２月　９日（木）ロワジールホテル那覇・全ト協「経営者研修会」~~
（7）　２月２０日（月）熊ト協会議室・第２回部会員会議

４．ダンプトラック部会
（1）　９月　８日（木）ホテルグランヴィア（広島）・全ト協第４６回ダンプトラック部会
（2）　1月２０日（金）熊ト協会議室・第１回部会員会議
（3）　２月１４日（火）全ト協ホール・全ト協第４回各トラック協会ダンプトラック部会長会議

５．セメント部会
（1）　７月２２日（金）全ト協ホール・全ト協第４０回セメント部会
（2）　８月２６日（金）八代港湾労働者福祉センター・第１回部会員会議
（3）１１月１０日（木）金之助八代店・第２回部会員会議
（4）１１月１８日（金）ホテルマリックス（宮崎）・九州四県合同セメント部会
（5）　２月１０日（金）金之助八代店・第３回部会員会議
（6）　３月　７日（火）全ト協ホール･全ト協セメント部会･生コンクリート輸送部会合同研修会

６．引越部会
（1）　８月　３日（水）熊ト協会議室・第１回部会員会議
（2）　２月　２日（木）熊ト協会議室・第２回部会員会議

７．青年部会継運会
・正副部会長会、役員会関係
（1）　４月１４日（木）ザ・ニューホテル熊本・第１回正副部会長会、役員会議
（2）　４月１４日（木）ザ・ニューホテル熊本・令和４年度通常総会
（3）　６月　９日（木）ＴＫＰ熊本カンファレンスセンター・第２回正副部会長会、役員会議
（4）　８月　４日（木）ＴＫＰ熊本カンファレンスセンター・第３回正副、役員会議
（5）１１月　２日（水）１１月　２日（水）熊本ホテルキャッスル・第４回正副、役員会議
（6）　２月１０日（金）ＴＫＰ熊本カンファレンスセンター・第５回正副、役員会議
（7）　９月１３日（火）～１４日（水）視察先：先進企業視察Ｘフロンティア及びﾜｰﾙﾄﾞｻﾌﾟﾗｲ
国土交通省貨物課意見交換及び国際物流総合展２０２２
（8）　９月１６日（金）鹿児島県・宮崎県・熊本県　三県交流会
（9）　１１月２日（水）熊本ホテルキャッスル・設立４０周年記念セミナー

・全国物流青年経営者中央研修会等への参加

①全国代表者会議（部会長参加）

ア　令和４年　６月１７日（金）全ト協

イ　令和４年１１月２９日（火）全ト協

ウ　令和５年　２月１６日（木）主婦会館プラザエフ

②九州ブロック大会（部会員１１名参加）

ア　令和５年　１月２０日（金）城山ホテル鹿児島（鹿児島市）

③全国大会（部会員６名参加）

ア　令和５年　２月１７日（金）京王プラザホテル（オンライン同時開催）

・九州地区運輸青年部連絡協議会役員会　（事業費８４１千円）

（公社）全日本トラック協会九州ブロック大会を充実した大会にするため、各県の役員（正副部会長）で開催内容等について協議検討を行った。

①令和４年　４月１８日（月）役員会（長崎市）

②令和４年　６月　７日（火）役員会（鹿児島市）

③令和４年　９月２０日（火）役員会（沖縄県那覇市）

④令和４年１１月１７日（木）役員会（鹿児島市）

８．女性部会（肥後六花会）

（１）　４月１８日（月）熊ト協会議室・第１回全ト協女性部会正副部会長会議・Ｗｅｂ会議

（２）　７月１５日（金）熊ト協会議室・第２回全ト協女性部会正副部会長会議・Ｗｅｂ会議

（３）　７月１５日（金）熊ト協会議室・全ト協女性部会全国代表者協議会・Ｗｅｂ会議

（４）　７月２１日（木）ザ・ニューホテル熊本・九州ブロック女性協議会第１回役員会

（５）　９月　２日（金）熊ト協会議室・熊ト協女性部会第１回部会員会議

（６）　９月１６日（金）熊ト協会議室・九州ブロック女性協議会第２回役員会

（７）１０月１１日（火）熊ト協会議室・全ト協女性部会全国研修会・Ｗｅｂ開催

（８）１１月２５日（金）SHIROYAMA HOTEL Kagoshima･全ト協女性部会九州ﾌﾞﾛｯｸ研修会・ﾊｲﾌﾞﾘｯﾄﾞ開催

（９）　２月　３日（金）熊ト協会議室・熊ト協女性部会第２回部会員会議

(10)　２月２４日（金）熊ト協会議室・九州ブロック女性協議会第３回役員会